

新春特集号

- 対談「豊かな会津を築くには」… 2
- グラフ「若い群像」…… 4
- 特集「会津開発今後の課題」…… 5
- 絵でみる10年後の会津… 8

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

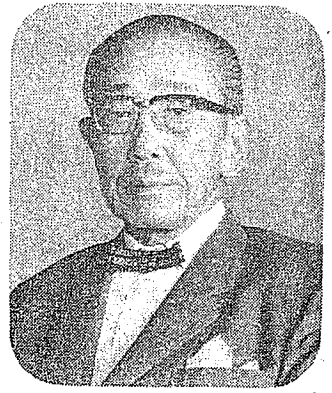
260号

昭和43年1月1日発行
 発行所 会津若松市
 発行人 竹田正夫
 編集 広報係
 定価 5円
 毎月1日・15日発行



賀春

私達のお正月 謹教小学校3年 宮森 理香



新年おめでとう
 ございます。
 茲に恙なく昭和
 四十三年の新春を
 迎えることができ
 ましたことは、昨
 年の市政各般にお
 ける市民の皆様
 特段の御支持、御
 協力の賜でありま
 して、深く感謝と

御礼を申し上げます。
 殊に昨年は、本市にとって明治戊辰百年の記念すべき
 年にあたり、百年祭式典をはじめ数々の行事と事業を推
 進し、先人の偉大な業績をたたえ、その回顧と反省を通
 じて、市民の皆様と共に未来の都市づくりに向けた認識
 を深めましたことは、まことに意義のあることと考えて
 います。

本年はそうした記念すべき足跡を土台として第一歩を
 踏み出すわけですが、私は私の過去の実績に対する
 市民の正しい評価と信頼に応えるため、きびしく謙虚
 な反省と新たな決意に立って、市政に市民の皆様の声を
 反映し未来に希望と繁栄を約束する政治家としての使命
 に徹して邁進する決意であります。

同時にはげしく厳しい前途に立ち向う本市の行政の方
 向を単なるバラ色の夢ではなく市民生活に即した明るく
 新鮮な長期の総合計画の中で確立し残された多くの問題
 を一つ一つ慎重に解決してゆく覚悟であります。

更にいうならば現下の社会状況から考え、本市の産業
 経済、文化、観光の振興は近隣町村との合併による具
 体的な発展策を講じてこそ実るのであり、私はこの課題の
 早期実現を固く、県、ならびに近隣住民と深く接して来た
 過去の経験を生かし凡ゆる政治力を投入し又市民の皆様
 の理解ある御支援をお願いして達成したい所存でありま
 す。

又、区画整理、下水道、宅地造成、交通安全などキメ
 細かく市民生活の環境を整備し、教育、文化、福祉、観
 光行政を充実強化し農業、中小企業を中心とする産業の
 振興に全力を傾けて参りたい所存であります。
 どうか本年も旧に倍する御支援と限りない御協力をお
 願いし併せて市民の皆様のお健康と御多幸をお祈りいた
 しまして私の年頭のことばといたします。

昭和四十三年 元旦

会津若松市長 横山 武

とじて保存しましょう

明治戊辰百年祭も終り、新しい100年を迎えて雄々しくスタートする第1年目の今年。会津発展の方向、あるいは心がまえなど、木村知事をお迎えして、横山市長と大いに語っていただきました。

を築くには

福島県知事 木村 守江



「今や会津は一つに団結しなければなりませんね」知事

望まれる会津の大同団結

市長 そこで、私共が再認識していただきたい問題から入りたいと思いますが、除雪車が配置されているのも私は見えていますし、今後とも冬の交通網には特段の配慮をお願いしたいという事です。

知事 わかりました。とにかく会津の発展は、交通網の整備が最大の問題です。あなたもがんばってください。

市長 はい、産業的な道路のみならず、観光的路線にも早急に取り組んで行きたいと思っております。裏磐梯と表磐梯とを結ぶ新しい観光道路の開発、そして本市では今、猪苗代湖と短時間で直結する背あぶり山の自動車道路を着実に進めていますし、会津若松を中心とした国道四十九号線と国道百二十一号線とを立体的に結ぶ道路の整備に入っています。

知事 神明通りを駅前に結ぶ道路はどうですか。

市長 昨年はようやく家の移転までこぎつけました。非常に難しいですね。これが完成すれば、市街の様相もぐんと変ると思えます。

知事 早く完成させたいですね。それと同時に特に強調したいのは、会津若松市は会津二市五郡の拠点都市ですから、こうした物の見方、考え方に立った企画なり開発なり、人々の考え方をまとめて、認識を新たにして努力してもらいたいですね。

猪苗代湖の開発が急務

市長 知事さんのいわれるように、私共はそうした観念に立った総合開発という立場で、県内では初めて、全国でも市町村で実施した例はないと思いますが、電子計算センターを設けたり、あるいは、し尿処理場を共同で運営したりして

知事 会津の開発の根幹にあるのは、なんといいても農業です。したがって農業の基盤整備を図って、省力増産のできる農業経営になければならないと思えます。これによって農家の収入をぐんとあげていくとですね。私は、会津北部と一万一千歩の大規模な土地改良事業を進めていこうという考えを持っています。そして増収を図る一方、さいわいこの冬期間の出かせぎを防ごうと考える必要はないかと思えます。そこで私は会津の農林業の振興策として、昨年、林業公社をつくりました。会津は特に林業が盛んでありますね。県内平均が二十二%ですが、会津は十一%という状態ですから、植林させるためにも林業公社を大いに活用していただきたい。林業公社ですと、いわゆる冬期間、仕事のない時は、失業保険などを貰えますし、植林をやったり、出かせぎ防止という役割も果せるものと考えております。

また、会津はなんといいても日本の穀倉地帯です。米だけでなく特殊農産物も多し、最近では果物なども

市長 知事さん、あけましておめでとうございませう。今日は、今後の会津の歩む方向などについて、私共の立場をお聞き願ひ、かつ、知事さんから色々とお話をお話を伺いまして、大いに新春対談を進めたいと思ひます。

知事 そう、昨年の十一月十四日でしたか、県庁で会津総合開発を開きました時にも、色々とお話や質問点が出ましたね。

市長 いや、もう知事さんは会津のことは何にもかも知りつくされてますからね(笑)。

知事 まあ、自分としては、会津については色々とお勉強もしましたし、そういう機会が多かったもんですからね。つまり、地元の方々が非常に熱心ですから、

市長 認めるものにもありませんよ。毎年、新しい除雪車が配置されているのも私は見えていますし、今後とも冬の交通網には特段の配慮をお願いしたいという事です。

知事 わかりました。とにかく会津の発展は、交通網の整備が最大の問題です。あなたもがんばってください。

市長 はい、産業的な道路のみならず、観光的路線にも早急に取り組んで行きたいと思っております。裏磐梯と表磐梯とを結ぶ新しい観光道路の開発、そして本市では今、猪苗代湖と短時間で直結する背あぶり山の自動車道路を着実に進めていますし、会津若松を中心とした国道四十九号線と国道百二十一号線とを立体的に結ぶ道路の整備に入っています。

知事 神明通りを駅前

市長 昨年はようやく家の移転までこぎつけました。非常に難しいですね。これが完成すれば、市街の様相もぐんと変ると思えます。

知事 早く完成させたいですね。それと同時に特に強調したいのは、会津若松市は会津二市五郡の拠点都市ですから、こうした物の見方、考え方に立った企画なり開発なり、人々の考え方をまとめて、認識を新たにして努力してもらいたいですね。

市長 認めるものにもありませんよ。毎年、新しい除雪車が配置されているのも私は見えていますし、今後とも冬の交通網には特段の配慮をお願いしたいという事です。

知事 わかりました。とにかく会津の発展は、交通網の整備が最大の問題です。あなたもがんばってください。

市長 はい、産業的な道路のみならず、観光的路線にも早急に取り組んで行きたいと思っております。裏磐梯と表磐梯とを結ぶ新しい観光道路の開発、そして本市では今、猪苗代湖と短時間で直結する背あぶり山の自動車道路を着実に進めていますし、会津若松を中心とした国道四十九号線と国道百二十一号線とを立体的に結ぶ道路の整備に入っています。

知事 神明通りを駅前

市長 認めるものにもありませんよ。毎年、新しい除雪車が配置されているのも私は見えていますし、今後とも冬の交通網には特段の配慮をお願いしたいという事です。

知事 わかりました。とにかく会津の発展は、交通網の整備が最大の問題です。あなたもがんばってください。

市長 はい、産業的な道路のみならず、観光的路線にも早急に取り組んで行きたいと思っております。裏磐梯と表磐梯とを結ぶ新しい観光道路の開発、そして本市では今、猪苗代湖と短時間で直結する背あぶり山の自動車道路を着実に進めていますし、会津若松を中心とした国道四十九号線と国道百二十一号線とを立体的に結ぶ道路の整備に入っています。

知事 神明通りを駅前

市長 認めるものにもありませんよ。毎年、新しい除雪車が配置されているのも私は見えていますし、今後とも冬の交通網には特段の配慮をお願いしたいという事です。

知事 わかりました。とにかく会津の発展は、交通網の整備が最大の問題です。あなたもがんばってください。

市長 はい、産業的な道路のみならず、観光的路線にも早急に取り組んで行きたいと思っております。裏磐梯と表磐梯とを結ぶ新しい観光道路の開発、そして本市では今、猪苗代湖と短時間で直結する背あぶり山の自動車道路を着実に進めていますし、会津若松を中心とした国道四十九号線と国道百二十一号線とを立体的に結ぶ道路の整備に入っています。

知事 神明通りを駅前

市長 認めるものにもありませんよ。毎年、新しい除雪車が配置されているのも私は見えていますし、今後とも冬の交通網には特段の配慮をお願いしたいという事です。

知事 わかりました。とにかく会津の発展は、交通網の整備が最大の問題です。あなたもがんばってください。

市長 はい、産業的な道路のみならず、観光的路線にも早急に取り組んで行きたいと思っております。裏磐梯と表磐梯とを結ぶ新しい観光道路の開発、そして本市では今、猪苗代湖と短時間で直結する背あぶり山の自動車道路を着実に進めていますし、会津若松を中心とした国道四十九号線と国道百二十一号線とを立体的に結ぶ道路の整備に入っています。

知事 神明通りを駅前

新春対談

市長、知事と大いに語る

豊かな会津

会津若松市長 横山 武



「会津の発展は交通網の整備促進が最大の問題です」市長

あなたも賛成だし、郡山市もか、乗り気ですのでぜひやりますよ。

このあいだ、企画庁に出向いた際、四十三年度からは東北開発で、リース方式でそういうものに金を出せるようにしていきたいといっておりました。そうすれ

会津を「東洋のスイス」に

市長 よくわかりました。それほど国が積極的になって来たことは大変よろこばしいことです。大いにそうした計画を練っていきませう。特に郡山市ともよく相談して行きたいと思っております。

ところで、私は本市を無税都市にするという構想を持っています。全国三千三百三十の市町村のうち、不交付団体、いわゆる無税都市は百六十くらいあります。このうち三分の二が大工場

史跡の開発に……。これが終わったら、市五郡の史跡の観光開発に本市は乗り出すべきだ。もちろんその間には広域行政の計画推進によって、大会津市をつくらなければならないと考えておりますが……。

さらに、裏磐梯に四百万人が来るといわれていますが、この人たちはほとんど本市には来ていない。それはあまりにも距離がありすぎるからで、この距離を縮めることによって、導入策をやらねばなりません。

市長 会津のためにできるだけ高配の程をお願いいたします。ところで、自治省が今年度から「地方中堅都市」を設けたい方針を発表しましたが……。

知事 先般、全国知事会で話がありました。私も構想を練り直した方がよいということでした。もちろんこの構想の場合、会津若松市は地方中堅都市に入るべきです。私としても努力はいたします。今年度は地方自治体が体質改善を図って、底力のある改善策を進めるべきでしょうね。

をかねて固定資産税で市の財政をまかなっており、あとの三分の一は観光都市として成功している。そうした観光都市としての不交付団体ができているとすれば、この会津若松市も無税都市になれるという事はないと思っております。しかも資源があるのですから。今日、市に来る観光客は年間二百万人といわれるが、七十万人くらいしか市内に泊っていないのですよ。ところが本市の税金は年間約一億円ずつ過去五年間伸びています。その伸びているのは、大半が観光業者なんです。二百万人来ていて七十万人しか泊まらないので一億の税の伸びがあるのですから、二百万人が泊まれば、二億の税の伸びが考えられるわけですよ。どうして二百万人が泊まらないかというところ、見るべきところがないから日帰りしてしまう。それで私は天守閣の収益金を一般行政に使わないという決議を議会ですて貰ったのですよ。これは市民の税金を使わないで、国、県の世話になり、寄付金で建つものだから……。何に使うかというところ、観光資源、

会津の開発は、先にも申しましたが、県や市の首長だけでなく、広く会津の人々の積極的な協力が必要です。そうした認識を新たにしないと、いつまでたっても会津は取り残されてしまう。私も努力しますから、皆さんもそれぞれの分野でがんばっていただければと思います。

「地方中堅都市」

としての発展を

市長 わかりました。知事さん、広域行政推進に必要な体制づくりとして、県は会津支庁を設置していただきたいのですが……。

知事 いろんな開発のために会津支庁を設ける問題ですが、各構想があると思はれますが、特別に会津支庁をつくった方がいいかどうか、いま行政機構改革でも考えている問題です。たと

市長 どうも、今、知事さんがいわれた通りで、一層努力をいたしたいと思っております。

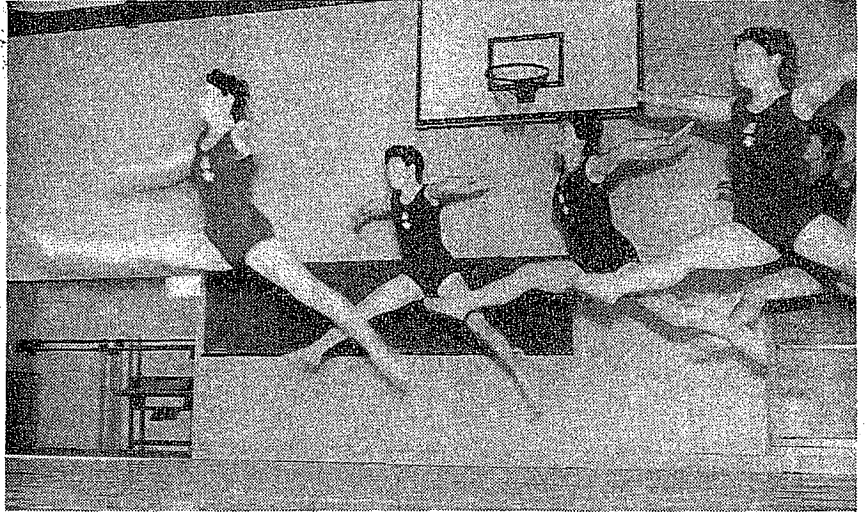
えび浜通り、郡山、会津、その他に各一カ所の四支庁案というのは前から出ておりました。そういう方向にするのが良いのかどうか、なかなかむづかしいので、結論がでないのですよ。会津は一つにまとまっています。一番やりのいいのですが、四十三年度には行政機構審議会にはかって、基本的に解決していきたいと考えて

この対談では、このほかに多くの問題が話題になりましたが、紙面の都合上、これらの点は掲載できませんでした。

なお、この対談の内容整理の一切の責任は会津若松市役所秘書課広報係にあります。



農業を離れていく若い女性が多いなかで、門田町の栗城道子さんは、積極的に農業ととりくんでいる。豊かな農業経営は、若い人の新鮮なアイデアと実践力が要求される。



連続8回県下一のタイトルを獲得した若女の、集団徒手体操クラブ。はげしい練習の積み重ねが、この栄誉をもたらしたのだ。

若者群像



若い身のこなし、身体全体で踊るはげしいリズム、明日の仕事に支障ないのも、若きならではである。

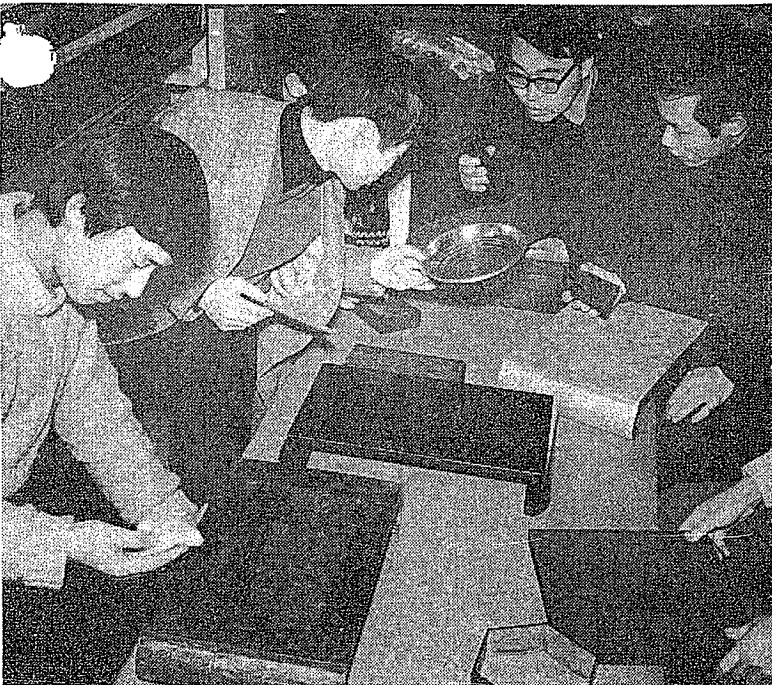


理論と実践を通して、合理的な農業経営を学ぶ、中央高校の生徒たち。土に生きる喜びが解るのも、もうすぐだろう。

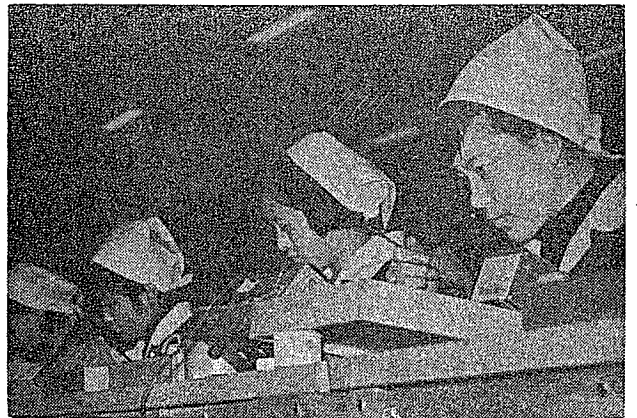
若い人たちの無限の可能性は、会津発展の原動力だ。政治、経済、文化、スポーツなどすべての分野で、若い人たちの大きな活躍が期待される。



辺地分校の先生は若い人が多い。東山町川添分校の長尾先生もその1人だ。若い人の積極性が分校教育には欠かせない。



会津漆器の名声をさらに高めようと、共同研究する若いグループ。この人たちとともに、会津漆器はさらに発展するだろう。



新しい進出工場が求める若い従業員、それにどう応えるかが、会津発展の鍵といえる。

会津開発今後の課題

特集 広域行政で強く推進

今や会津は、東北経済圏から脱却して、関東経済圏に移行しつつある。東京まで三千里の距離的有利性は、好むと好まざるとにかかわらず、東京の人口一千万人の影響を大きく受ける。年々盛りあがってきている会津開発の気運——それを更に成長させ、実を結ばせるために、一層の努力が必要である。昨年の市政だより新春号でも会津の開発問題を特集したが、今年は姉妹編として会津がいかに開発の実をあげているかを開発の現状と青写真をもとに特集した。

交通 急がれる関東圏への道 121号線の整備が問題

磐越西線の整備は昨四十二年の電化実現によって一応の目標が達成された。これによって関東経済圏への時間短縮がはかられ、経済文化交流の上で大きな役割をはたしている。しかし、高度経済成長が続けられていく今日、これに満足することはできない。そこで、会津の産業・経済の基盤となる交通網整備の現況にふりてみる。

交通網整備の上で主眼となるのは、やはり関東経済圏への接近である。会津においては、その突破口を興す。すでに工事は起點滝ノ原から標高九百六メートルの山王峠まで路盤建設を完成

同線の最も難所とされる山王トンネルも福島県側千七百メートルを掘削、栃木県側からの掘削も着手している。このほか同線では不動沢トンネル、越路沢橋など大がかりな工事を必要とする箇所があるが、ことしは工事に着手する予定で、力強い建設のつち音が聞かれるのも間近かである。

同線の経済的価値は、いままでもなく関東経済圏と会津を直接結びいけば大動脈の役割である。

全線が開通すれば、滝ノ原——今市間はわずか五分、会津若松——東京間も三時間余でつながり、会津の産業開発、観光路線としての利用度は高い。さらに同線は将来、会津日中線から米沢——山形——秋田と東日本を縦貫する幹線路に整備する計画で、全会津総

合開発協議会などを中心に早期実現を働きかけて行く。奥会津只見と新潟県大白川を結ぶ只見中線の建設もさる四十一年から始まっている。奥会津の森林、地下資源の開発に重要な役割りを果たす路線でもあり、完成が待たれている。

一方、太平洋と日本海を横断する国道四十九号線は会津の玄関口にあたる中山峠とならび国道四十九号線の難所とされてきた七折峠も改良工事が完成した。

坂下町塔寺から柳津町藤橋間四千六百一十一メートルで、一億八千万円の工費を投じ、カーブの多い地点を孤線状の緩やかなカーブの道路に改良、危険がとり除かれた。新湯への道を近くした。ことしは舗装工事も行うことになっている。ただ、新湯奥寄りの四十九号線は一部の改良に手を二つだけ、未改良間が、二十二・五キロメートルもあつて今後の整備が待たれている。

農業

農地造成に意欲 近代化促進で所得を増大

会津地方の農業所得の平均は福島県平均や全国平均よりわずかながら上まわっている。昭和三十六年を例にとると、耕地一反当り生産農業所得は、全国平均均十萬一千円、会津地域は十萬三千円である。農業専従者一人当りの生産農業所得は全国平均均十萬二千円、会津地域は十一万円である。これを見て会津地域は農業先進国だといえることはできない。表のように、高いのは平垣部であつて、山間部は反対にかなり低い。会津全体の生産性の高さは平垣部に支えられているのである。山間部は総面積の七十%が山林原野で、しかも固有林の比重が大きく、それらは一般地方行政の外に置かれている。わずかの耕地は米

をたどると、変化に富んだ景勝を楽しみながら、三十分程度に短縮される。道路網整備の構想においては、以上の国道・幹線地方道路整備のほか、東日本横断高速道路の建設が目まされる。平——新湯間に国道四十九号線とは別に高速自動車時代にふさわしい道路を建設しようという案で、青写真作成も時間の問題といふ。いづれにしても、会津の産業基盤となる交通輸送網整備にかける住民の期待は大きく、新春の話題はつきない。

生産性指数 (全国=100)

	土地		労働	
	耕地1反粗当り収益	1反粗	農専従者の1人収益	従者の1人収益
湯川村	127	177	177	177
新鶴村	121	149	149	149
岩村	54	45	45	45
新館村	26	28	28	28
枝岐村				

新年に臨んで

年頭に当たります。す年であることを考えます。皆様方のご多幸を心から祈念いたすものであります。

昨年四月総改選により再び市政に参画する重職を担うことになり、就任以来、私共議事に職を置くに議会の活動を通じ市民と密着する市政の具現をこの機会にご理解願ひたい。この機会に御座います。ご協力方を切にお願いいたします。本年は、本しまして新年の希望に臨む市にとって戊辰百年の歴史の上に第一歩を踏み出たします。

会津若松市議会議長 岸 久吉
副議長 磯貝 義恵

そうなるかと東京経済圏の中に入り、東京の消費人口一千万人の台所の需要に必ずる農業経営が要求されてくる。すなわち、キャベツ、キヌワリ、セロリ、レタス、イチゴ、インゲン、白菜、トマトなどの高冷地園芸農産物の栽培である。すでに下郷町では高冷地野菜などを栽培しているが、しかし東京方面に出荷しているところはほとんどない。

会津の農業は、いま大転換期を迎えている。いたるところで目につくのは大規模なパイロット事業であり、土地基盤整備事業である。下郷町の園芸パイロット事業は、原野五百町歩を、水田二百町歩、畑二百町歩、牧野百町歩に開拓する。事業費十一億円。昭和四十二年着工、四十五年には完成する。

喜多方北部の雄国山ろくの園芸パイロット事業は、県下一の規模をもつ。十億円、千五百町歩の原野が開拓される。昭和四十三年までに調査と実施設計などの作成を終り、四十四年から着工する。

磐梯町のパイロット事業は、百六十町歩の原野を開拓する。これらは従来の原野を水田、畑、牧野などに生まれ変わらせるもので、土地の高度利用がはかられる。作業の能率化、収穫の増大をめざして土地基盤整備事業が、北会津村をはじめ塩川地区、山都地区、また市内のあちこちで行なわれている。北会津村は福島県の

の農業を代表しているといっても過言ではない。その整備面積は約千七百町歩、事業費は十七億円である。昭和四十二年までに六百町歩の整備が終った。トラクターはすでに十五台が購入され、コンバイン、大型脱穀機、刈取機なども四十三年に購入される。一昨年完成したカントリーエレベーターも、作業能率をぐんと高めた。この事業の完成の暁には、トラクターが走りまわり、コンバインが刈取りから脱穀まで一気にしてしまふ。それはアメリカなどで見られる農業風景と同じものである。

山都町では山の傾斜地二十町歩を集団桑園にするための工事が行なわれている。最近生糸の需要がのびており、養蚕の大規模経営が望まれている。山都の場合従来の畑作地をこわして、桑園にするのではなく、原野を桑園にするのであり、このような行き方は他の作物を圧迫することもなく、今後強力で推し進めなければならない。

磐梯町では、磐梯山ろく三十町歩ほどの町営採草地を造成している。現在十町歩ほどが完成しているが、酪農の振興とともに磐梯山の雄大な風光とあわせて、観光的にも注目されている。また磐梯町では、東京の市場と契約し、ばれいしょ、大根、キヌワリ、しいたけなどの大衆野菜を、毎日出荷する体制を整えている。これらは会津の農業の今後の行き方の一つといえる。

喜多方の清水食品工場は、望といえる。近郊から収穫されるアスパラガス、主にかんづめにしている。アスパラガスは年間三百八十トン位が栽培されており、五月から七月まではアスパラガスだけでフル操業である。しかし問題はあとの九月で、地元産の桃、さくらんぼなどは微々たる収穫で、大部分は山形、福島から移入している。原料の大部分を地元から供給されるようになれば、会津の農業所得——それが最初にくれたように、全国平均より少し上まってい



会津農業の最大の課題、パイロット事業

工業 問題多い工場誘致 会津の資源開発が力

会津地域の工業は、少数の大規模工場と、昔からある現存産業とから成り立っている。そのうち、近代工業といえるものは、高度電力利用産業と、ハードポット、食品、皮革、非鉄金属、化学、窯業工業、電気機器製造工場などである。これらの工業のうち、高度電力利用の資源産業も、当初設置したときは、豊富で低廉な電力が大きな利点であったが、最近電力料金の特例措置の解消によって、当地域に設置しことの利点が失われ、わが国の工業中心地帯から遠距離にある悪条件が目立ってきている。電力料金の特別措置が解消された現在、それだけを理由に電源地帯に電力消費型企業が進出してくることは考えられないのではないかと、津に工場がやってくるようう。では、会津は、工業に適さないかという、そのでもない。

最近誘致を見た、会津の気候、風土に合った電気機器製造工場は、将来の会津の工業化の姿に示唆を与えている。門田町のエース電子工場や、一箕町の富士通工場は、附加価値率の高い労働集約型工場である。トランジスタの部品や、音響機器や半導体部を生産

でもしいたけを栽培し、現金収入の道をつくり出した出かせぎで家族はバラバラという状態では、農業の発展は望めない。家族全員の和やかな生活から、近代的な農業経営への意欲も生まれてくるのである。会津の発展は、農業の発展なくしてありえない。家畜飼育、酪農、果樹栽培と農家の人たちの真剣な努力が、さらに大きな輪に発展したとき、農産物加工の新工場の進出も夢ではない。

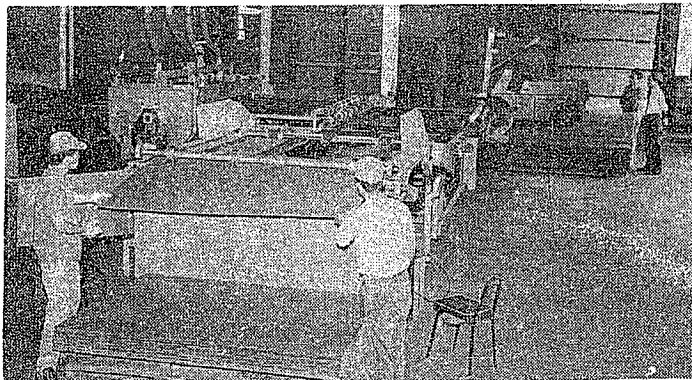
本郷町の会津碍子工場は配線用高圧、低圧碍子を生産しているが、原料は地元から無尽蔵に産出し、企業としては大変有利な条件の中にある。塩害地区に使用される磁気アームの開発も進めており、将来は洋式厨房、浴室、ヴェランダなど広汎に使用されているタイル、あるいは衛生陶器の

「未来の会津を設計する」 論文・作文募集

市では、今後本市が会津地方の中心都市としてどのような方向へ進むべきか、みんなが念願する会津若松市の未来像はなにか、そのためには具体的などのような方法があるかなどについて多くの人たちから論文と作文を募集します。

論文の部	□応募規定 ①応募資格は制限なし ②応募者は市内小学生中学生のみ ③400字語原稿用紙で小学生5枚以内、中学生10枚以内 ④各学校ごとに提出のこと ⑤作品に学校名、学年名、氏名をはっきり書くこと。
作文の部	□応募規定 ①応募資格は市内小学生中学生のみ ②400字語原稿用紙で小学生5枚以内、中学生10枚以内 ③論文に住所氏名、年令、職業、明記のこと。

□しめ切り 昭和43年4月15日 □提出先 会津若松市役所企画課内 会津若松市長期総合計画策定委員会事務局



木材加工業の花形、会津ハードボード工場

製造なども考えられている。木材製品、家具装飾品、そうすれば、残材はチップパルプ紙加工品工業は、非鉄金属、食料品工業に次いで、当地域で第三位を占めている。しかし、森林王国と云われる地域にしては企業としての業績は低迷している。年々山奥に入る伐採現場とともに輸送路の悪悪さなどの悪条件が重なっている。そして地元に加工場がないということから、何ら手を加えない原木のまま、他地域に移出されることなどが低滞の原因と考えられる。ふたたび当地域に入る時は、高価な家具調度品に生まれ変わっているが、地元に落ちるお金は微々たるものである。これを何とか地元で製品に加工するような体制をつくる

が、会津郡はその一つに選ばれ、福島県産資源開発調査委員会が結成され四十年には金山町地区をボーリングした。黒鉱は銅、ナマリ、亜鉛を含む鉱石で、会津方面にはいままでの調査で無尽蔵にあることがほぼ判った。今後は一層精密なボーリング調査が行なわれるが、企業化の暁には、電源開発ラッシュ時以上の好景気が会津を訪れるだろう。他の都市の開発の急テンポに遅れないように、豊かな会津の資源開発は自分たちの手でやらなければなら

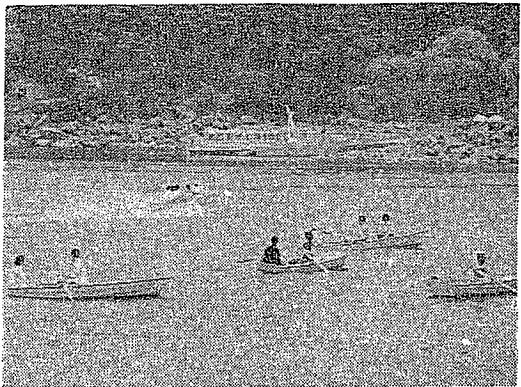
から二千七百メートル、檜工事に着手する予定。また原から二キロメートルにわたって整備を済ませて、昭和四十四年完成を目指している。この道路の話題になるところは、七・九キロメートルの区間を有料道路にし、沿線は観光牧場、また通過地点の猫魔、磐梯の山名所に育てようという計画である。とくに会津若松市ではこれら史跡の開発に重点をおき、単なる名勝地観光からの脱却を試みようとして、青写真づくりに努力をほら

光 重点は史跡の開発 国際観光地への飛躍を

中小企業の保護育成は、本市の場合、特に重要な施策である。市の設備近代化貸付、市ならびに県の店舗合理化資金、市の小口保証融資、県の機械貸付、団体組織資金、その他の預託制度による貸し付け額は、十一月末現在で二億五千二百万円にのぼっている。また、商店街全体を新しく生まれ変わらせる指導も行なわれている。最後に地下資源の開発として、大きく脚光をあびている黒鉱開発の問題がある。黒鉱開発の拠点として全国二十七カ所を指定した

磐梯朝日園立公園を中心とする会津の観光は、近年とみに発展の速度を増している。観光客の入込数をみても昨年は二百二十万人を数え、観光消費額も三十五億円を推定、昭和四十一年実績に比較して観光客の数では二十％増、消費額は十一％の伸びとなっている。こうした伸びが順調に続けば、昭和五十年代を迎えたとき、消費額で、およそ百七十億円を推定することができ、会津観光の地図は全面的に塗り変えられ、文字どおり「パラダイス会津」の名が世界に宣伝されることになるであろう。

が、同路線は昨四十二年から工事に着手した。計画に積極的に進める計画で、第一に猪苗代湖畔長浜に県営駐車場を建設する。これは、モーターリゼーション到来に備えたもので、二千四百二十平方メートルを埋め、春の観光シーズンまでに完成される。工費は約一千七百万円で近く



湖原檜梯磐裏のうぎざに遊ぶ遊ポート

身障者新年名刺交換会
 1月14日午前10時から 東山・丸井荘
 会費500円 □身体障害者手帳所持者は多数参加ください □参加者は1月10日までに会費を添付して各分会に申し込ます

戸籍謄抄本の料金が改正になりました
 昭和43年1月1日から国の法律改正によって、戸籍の謄抄本の交付手数料が今までの1枚40円から50円に、また戸籍の閲覧手数料も、1件50円となりました。

しめきり迫る！ふるって応募を
市政写真コンクール作品募集
 メ切り 1月15日 市役所庶務係
 送り先 市部 市政写真 2部 自由
 テーマ 市内居住者に限る
 応募規定 ①市内居住者による作品のみ
 ②白黒写真のみ
 ③個人名を明記しない

訂正のお知らせ
 市政だより十二月十五日発行第二百五十九号二面、国道百二十一号線バypass道路建設の記事中「南御山の東側」と訂正いたします。

青あぶり公園

子供の家

飯盛山

植物園

動物園

温泉プール

絵でみる
10年後の
会津

このページは、新横町・中村克夫さん、行仁町・小林節江さん、門田町青木・板橋英三さんの3人のマンガ家による「新春会津の初夢」というねらいで画いていたもので、市の開発計画や市行政の具体案によるものではなく、あくまでも各人の創作です。

49

きの子山

くり山

わらび山

